

1 地域包括支援センター活動報告

資料5

(1) 相談活動

年度	方法			内容(重複あり)						経路			
	来所	電話	その他	介護保険	認知症	福祉サービス	権利擁護	健康	その他	本人	家族	民生委員	その他
H29	612	918	82	877	346	196	98	175	161	213	825	156	452
H30	539	889	103	734	356	137	91	265	185	249	768	178	387
R1	564	724	58	653	327	124	64	195	186	207	702	171	284

・来所相談は微増、電話件数は減少している。相談内容としては、介護保険の利用や認知症についての相談が多い。

(2) 訪問活動

年度	事業対象者(二次予防・通所サービスC)		65歳以上高齢者		実態把握(再掲)	その他・65歳未満		権利擁護・虐待			
	実	延	実	延		実	延	虐待		成年後見	
								実	延	実	延
H29	158	193	902	1,680	371	8	14	59	104	18	53
H30	99	114	1,069	2,005	825	4	4	39	62	17	46
R1	82	150	1,274	2,072	665	14	20	74	102	24	52

権利擁護に関する訪問が増加している。

【参考】高齢者虐待
新規相談・受案件数

	新規相談・通報受案件数	高齢者虐待と判断した件数
H29	20	11
H30	27	18
R1	17	5

(3) 介護予防支援・介護支援専門員支援・その他

年度	介護予防支援				介護支援専門員支援				
	訪問		電話	担当者会議	プラン確認	相談	同行訪問	ケース会議	連絡会
	実	延	回数	回数	件数	件数	件数	回数	回数
H29	385	1,510	744	398	687	229	96	97	38
H30	457	1,489	739	417	721	322	82	94	33
R1	424	1,464	627	384	750	262	108	141	31

介護支援専門員支援の中で、同行訪問、ケース会議回数が増加している。

※前年度より継続的に支援しているケースは除く。

(4) 介護予防支援・介護予防ケアマネジメント給付管理数

(延べ件数)

年度	直営	委託	合計
H29	1,237	3,656	4,893
H30	1,187	4,080	5,267
R1	1,308	4,311	5,619

要支援認定者の増加に伴い、年々、件数が増えている。

(5) 元気応援サービス H28年度から介護予防・生活支援総合事業として実施

※介護保険給付費の「介護予防訪問介護」、「介護予防通所介護」及び「高額介護予防サービス等費」に相当するもの。

	元気応援訪問サービス		元気応援通所サービス		高額元気応援サービス		合計	
	件数	事業費	件数	事業費	件数	事業費	件数	事業費
H29	1,401	28,841,669	2,193	53,802,449	52	116,268	3,646	82,760,386
H30	1,505	30,201,243	2,176	53,428,759	32	62,001	3,713	83,692,003
R1	1,585	32,667,952	2,342	56,903,292	61	205,834	3,988	89,777,078

要支援認定者の増加に伴い、年々、件数、事業費ともに増加している。

(6) 元気応援教室(通所サービスC)

※H28年度から元気応援通所サービスCとして実施

実施地区	H29			H30			R1		
	実施回数	参加実人数	参加延人数	実施回数	参加実人数	参加延人数	実施回数	参加実人数	参加延人数
村上地区	30	31	553	24	30	677	24	17	303
荒川地区	32	26	336	28	11	210	25	12	269
神林地区	25	15	257	25	15	287	20	12	201
朝日地区	25	18	342	25	12	255	25	16	342
山北地区	24	24	252	20	20	377	19	15	227
合計	136	114	1740	122	88	1806	113	72	1342

基本チェックリストで生活機能低下がみられる65歳以上の人を対象とし、要介護状態にならないように複合型プログラム(運動・口腔・栄養)を取り入れ、実施している。

2 一般介護予防事業（主な事業）

（1）元気応援教室卒業生の教室

介護予防プログラム名	実施地区	H29			H30			R1		
		実施回数	参加実人数	参加延人数	実施回数	参加実人数	参加延人数	実施回数	参加実人数	参加延人数
しゃっきり教室	村上地区	10	44	336	10	50	424	6	34	163
はばたき会	荒川地区	16	17	106	16	10	123	14	10	106
足腰しゃんしゃん教室	神林地区	48	46	753	40	46	636	20	7	110
元気もりもり教室	朝日地区				20	17	240	20	20	316
合計	4地区	74	107	1195	66	106	1183	60	71	695

新型コロナウイルス感染拡大防止もあり、回数、参加者ともに例年より減少している。また地区によっては、スポーツクラブの自主事業にしたものもある。

（2）元気クラブ（認知症予防）

（3）介護予防教室（転倒予防教室）

	「元気クラブ」：脳活性化プログラムにより認知症を予防する						「介護予防教室」：転倒予防のためのプログラムを展開し、運動機能の向上を図る。					
	H29		H30		R1		H29		H30		R1	
	実施回数	参加延人数	実施回数	参加延人数	実施回数	参加延人数	実施回数	参加延人数	実施回数	参加延人数	実施回数	参加延人数
村上地区	21	347	20	368	20	378	615	5,991	665	6,596	613	6,006
荒川地区	18	186	20	215	16	205	18	258	30	467	26	308
神林地区	20	170	20	270	20	221	273	2,795	275	2,647	240	2,100
朝日地区	16	344	16	349	16	440	83	922	97	1,068	114	1,148
山北地区	14	199	16	142	13	154	28	258	44	397	44	465
合計	89	1,246	92	1,344	85	1,398	1,017	10,224	1,111	11,175	1,037	10,027

各地区共通の介護予防事業として、「元気クラブ」と「介護予防教室（転倒予防教室）」を実施している。介護予防教室は集落公民館等を会場とし、住民同士が集う身近な通いの場となっている。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施回数、参加人数が減少している。

【参考】介護保険新規申請者の申請理由

	H29年度	H30年度	R1年度
総数	923人	804人	864人
1位	認知症 204人 (22.1%)	認知症 167人 (20.8%)	認知症 137人 (15.9%)
2位	脳血管疾患 133人 (14.4%)	脳血管疾患 133人 (16.5%)	脳血管疾患 93人 (10.8%)
3位	骨折・転倒 109人 (11.8%)	関節疾患 88人 (10.9%)	骨折・転倒 90人 (10.4%)

新規申請理由の第1位は認知症で変わらないが、新規申請者に占める割合は減少傾向にある。

3 家族介護支援

（1）介護者のついで：介護者同士で悩みを共有し、情報交換する機会を持ち介護者の負担を軽減する。

	H28		H29	H30	R1
	市全体	各支所	市全体	市全体	市全体
実施回数	1	2	1	4	3
参加者延人数	36	18	29	62	62

（2）認知症カフェ：認知症の人やご家族、認知症に関心がある人など地域のどなたでも気軽に立ち寄り話ができる。

	H29	H30	R1	R1年度内訳
開催回数	35	24	22	荒川1、村上11、朝日8、山北2
参加延人数	575	391	335	荒川3、村上240、朝日28、山北64

介護事業所やリハビリ大学等でも、独自に認知症カフェを開催している。

（3）認知症サポーター養成講座：認知症の理解と支援、地域で支えるための方法を学ぶ。

	H28	H29	H30	R1
実施回数	14	20	18	18
参加延人数	539	564	734	333

職域や学校、地域の茶の間等から依頼がある。